

# 2021年3月期第3四半期決算説明資料

2021年2月

株式会社NexTone

東証マザーズ コード：7094

I	2021/3期3Q決算概要	5
II	2021/3期通期決算見通し (上方修正)	17
III	トピックス	22
	APPENDIX	24

## 2021年3月期第3四半期 業績ハイライト

**取扱高**

**9,461**  
(百万円)

前年同期比  
**+38.9%**

**売上高**

**4,510**  
(百万円)

前年同期比  
**+41.8%**

**営業利益**

**401**  
(百万円)

前年同期比  
**+58.6%**

**管理楽曲数**

**207,145**  
(曲)

前期末比  
**+23.6%**

**取扱原盤数**

**733,891**  
(原盤)

前期末比  
**+17.1%**

**決算概要 P.6へ**

## 2021年3月期通期 業績予想（上方修正）

売上高 **6,000**（百万円）、営業利益 **500**（百万円）、当期純利益 **300**（百万円）へ上方修正。

**業績予想 P.18へ**

## ■ 現在、顕在化している影響

- (+) ホームエンタテインメントの広がりにより、音楽・動画配信ニーズの拡大は継続
- (+) ライブビューイング開催制限等の影響はあるものの、ライブ配信コーディネートへシフト
- (-) CD/映像ソフトの発売延期や、イベントにおける録音物利用の減少

 **2021/3期3Q決算ではトータルの業績面ではプラス**

## ■ 今後、予想される影響

- (+) 音楽・動画配信等のホームエンタテインメントのニーズの追い風は継続
- (+) リアルライブとライブ配信の共存による、新たなライブエンタメサービスが創造
- (-) イベント開催制限の緩和は段階的であり、ライブエンタメ市場は引き続き不透明

 **2021/3期見通しではトータルの業績面ではプラス**

## 2021/3期3Q決算概要

---

# 2021/3期3Q累計決算概要

- ✓ 売上高は前年同期比4割増、営業利益・経常利益は同6割増となり大幅増益。
- ✓ 好調の主因は音楽・動画配信市場の伸長と、管理楽曲・取扱原盤の利用拡大や促進を背景とした著作権等管理事業の拡大。
- ✓ 管理楽曲数：20万曲超、取扱原盤数：70万原盤超、となり想定以上に増加。

(百万円)	2020/3期	2021/3期	前年同期比	
	3Q累計	3Q累計実績	増減額	増減率
売上高	3,181	<b>4,510</b>	+1,329	+41.8%
著作権等管理	2,713	<b>3,902</b>	+1,189	+43.8%
キャスティング	388	<b>542</b>	+154	+39.7%
その他	79	<b>66</b>	▲13	▲16.5%
営業利益	252	<b>401</b>	149	+58.6%
著作権等管理	505	<b>756</b>	251	+49.7%
キャスティング	44	<b>37</b>	▲7	▲15.9%
その他	15	<b>25</b>	+10	+66.7%
経常利益	251	<b>401</b>	150	+59.6%
親会社株主帰属 当期純利益	177	<b>274</b>	97	+54.3%
営業利益率	7.9%	<b>8.9%</b>	+1.0p	—
管理楽曲数	—	<b>207,145</b>	前期末比 +39,607	前期末比 +23.6%
取扱原盤数	—	<b>733,891</b>	前期末比 +107,432	前期末比 +17.1%

# 四半期毎業績推移

- ✓ 3Qのみを見ても前年同期比で増収増益。コロナの影響があるも、売上高は四半期ベースの過去実績を大幅更新。
- ✓ なお、著作権使用料は楽曲等の利用と売上計上時期にタイムラグがあるため（P.9へ）、上半期のコロナの影響は4Q（1月～3月）以降にも反映される構造。

(百万円)	2020/3期			2021/3期		
	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q
売上高	855	1,193	1,133	1,294	1,350	<b>1,866</b>
著作権等管理	787	923	1,003	1,268	1,263	<b>1,370</b>
キャスティング	34	245	109	3	64	<b>474</b>
その他	32	26	21	22	23	<b>21</b>
営業利益	59	72	121	121	96	<b>184</b>
著作権等管理	153	177	175	271	198	<b>286</b>
キャスティング	5	21	18	▲7	10	<b>34</b>
その他	4	7	4	10	12	<b>2</b>
経常利益	60	72	119	121	96	<b>184</b>
親会社株主帰属 当期純利益	46	50	81	82	66	<b>126</b>
営業利益率	7.0%	6.0%	10.7%	9.4%	7.1%	<b>9.9%</b>
管理楽曲数	—	—	—	179,741	193,470	<b>207,145</b>
取扱原盤数	—	—	—	656,923	701,823	<b>733,891</b>

## 著作権等管理事業

### 著作権管理業務

#### 「歌詞」「メロディ」の管理

著作権者からの委託を受け、  
音楽著作物の利用の許諾と  
使用料の徴収・分配

＜権利者＞  
音楽出版社

利用者から徴収する  
著作権使用料のうち  
当社**手数料分のみを売上計上**

### DD業務 ※1

#### 「オリジナル音源」「MV※2」の供給

国内・海外の音楽配信  
プラットフォームに向けた  
音楽・映像コンテンツの供給

＜権利者＞  
レコードメーカー、プロダクション

配信実績に応じて  
プラットフォームから入金される  
原盤使用料を売上計上

# 著作権管理業務：利用と売上計上のタイムラグ

- ✓ 配信、録音、出版、貸与等は下図の通り、利用時期と売上計上時期に1 Q分のタイムラグが存在。
- ✓ 放送、業務用通信カラオケは2 Q分のタイムラグが存在。
- ✓ DD業務、キャスティング事業は1か月のタイムラグが存在。

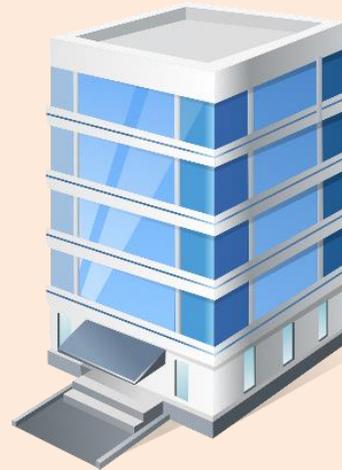
7~9月 (2Q) 利用分

音楽配信、CD等



9月末締め

音楽配信プラットフォーム  
レコード会社等



11月下旬 入金  
3Q売上計上

当社

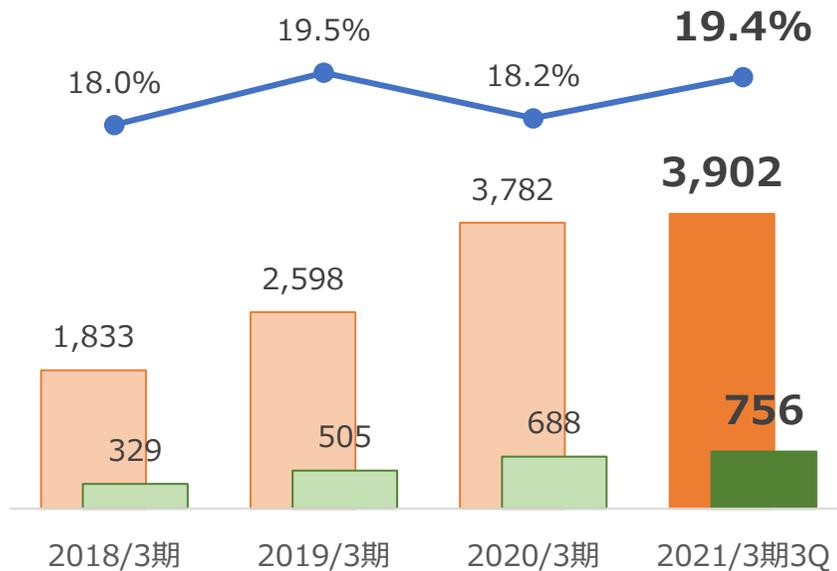


- ✓ 著作権等管理事業は、コロナの影響でCD/映像ソフトの発売延期や、イベントにおける録音物利用は減少したが、大型タイトルのリリースなどにより録音にかかる著作権使用料徴収額が順調に推移。
- ✓ ストリーミング音楽配信市場の拡大と動画配信サービス市場の伸長も寄与。
- ✓ キャスティング事業は、人気コンテンツのライブビューイングの再開や、著名アーティストの有観客・無観客でのライブ配信コーディネートが奏功し、上半期より業績が改善。ただしサービス構成の変化により利益率は低下。

## 著作権等管理事業

(百万円)

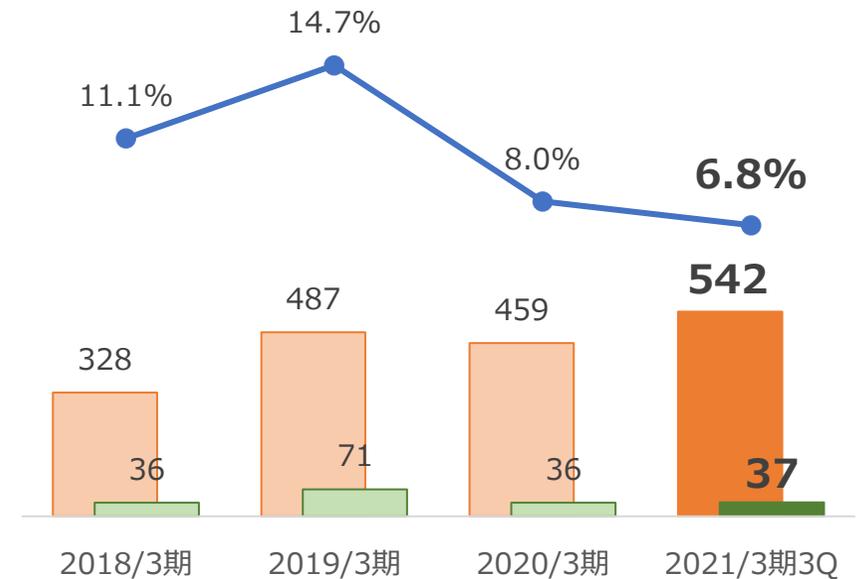
売上高 セグメント利益 セグメント利益率



## キャスティング事業

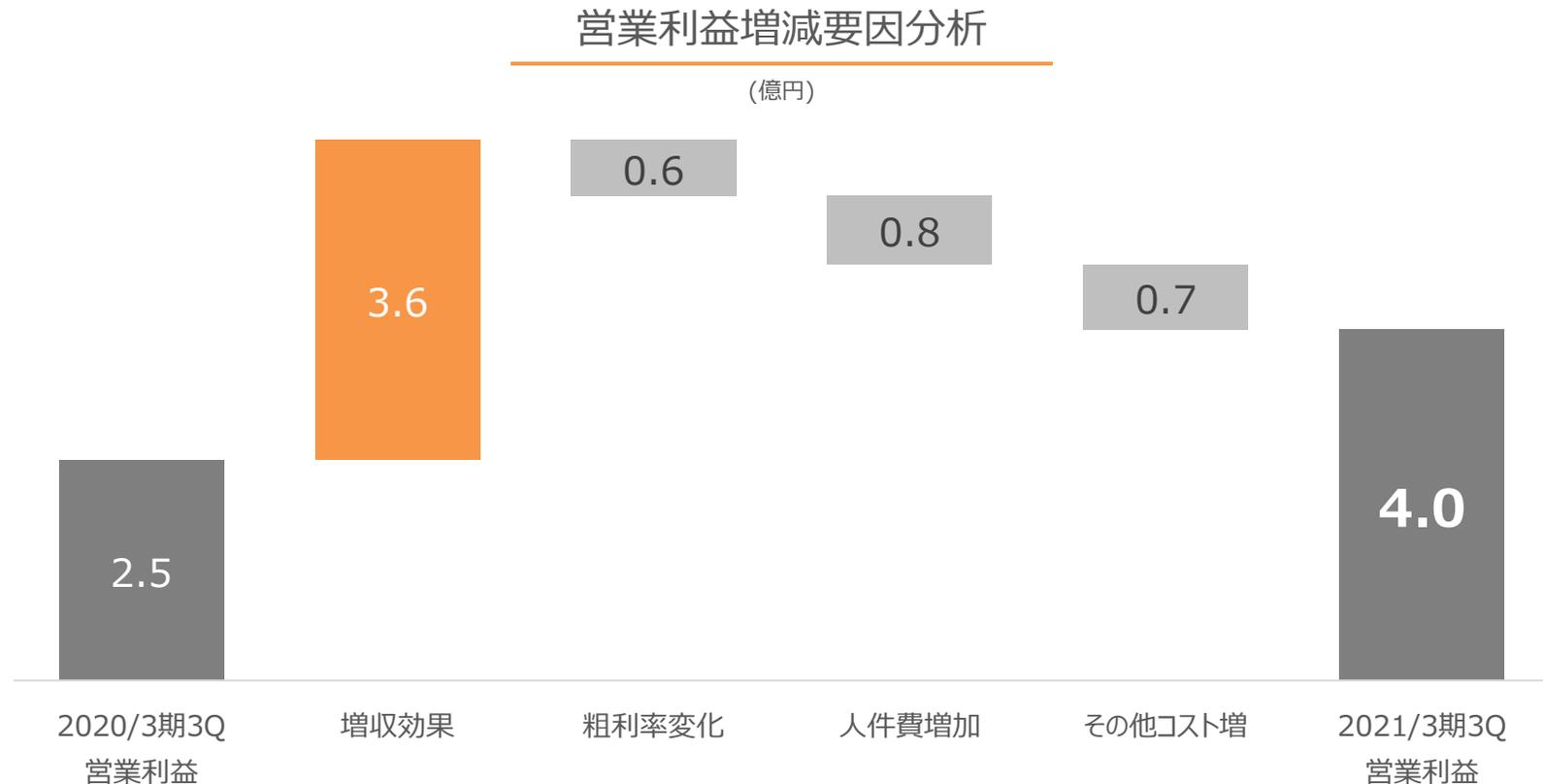
(百万円)

売上高 セグメント利益 セグメント利益率



# 営業利益増減要因分析

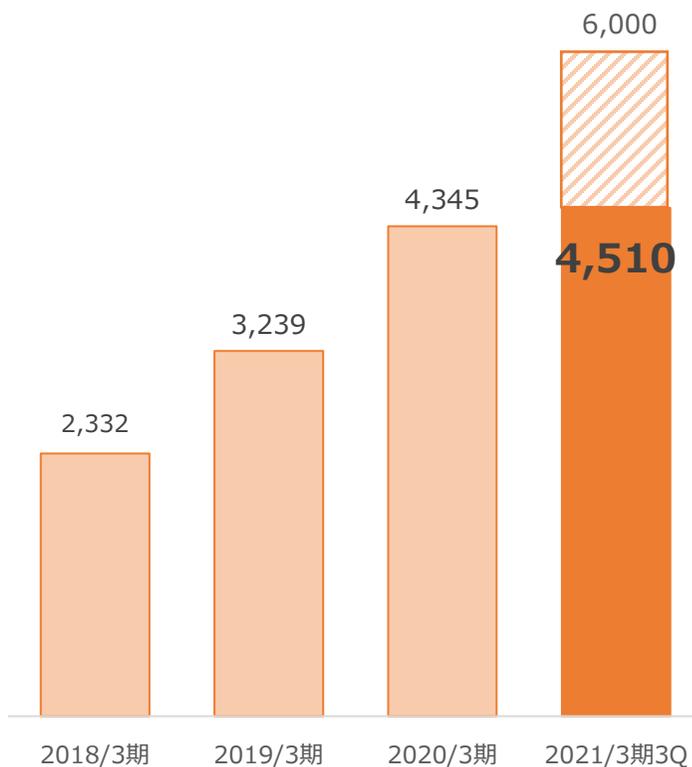
- ✓ 増益の主因は著作権等管理事業及びキャストイング事業の売上拡大による増収効果。配信市場の伸長に加えて、コロナ禍を逆手に取ったライブ動画配信コーディネートなどの新サービスが寄与し、およそ3.6億円の増益要因が発生。
- ✓ 一方、コスト面では業容拡大に伴って人件費やその他管理費用が増加。これらコスト上昇を売上増による増益寄与で吸収し、営業利益は前年比で約60%の大幅増加を達成。



- ✓ 2021/3期3Q時点の業績は既に2020/3期の業績を上回り、NexTone発足以降、4期連続の増収増益。
- ✓ 特に経常利益は過去最高の連続更新を見込み、経常利益率も2ケタ台乗せが視野に。

## 売上高

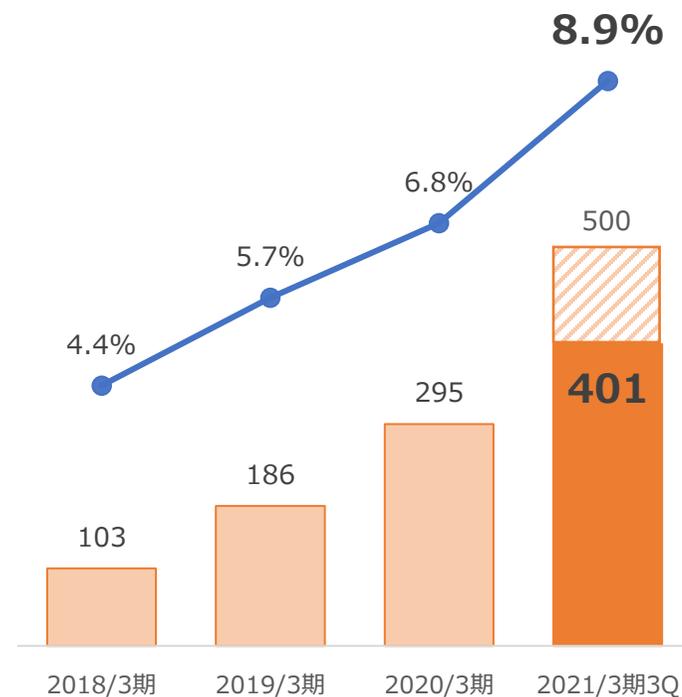
(百万円)



## 経常利益、経常利益率

(百万円)

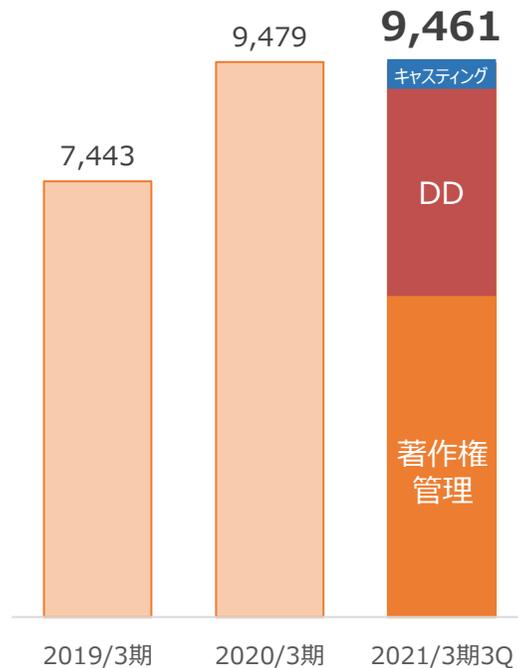
■ 経常利益 ● 経常利益率



- ✓ 取扱高（総入金額）は3Q時点で前期と同水準に到達。
- ✓ 管理楽曲数は3Q時点で前期の期中新規楽曲数を超え、話題となった楽曲の契約も順調に拡大。

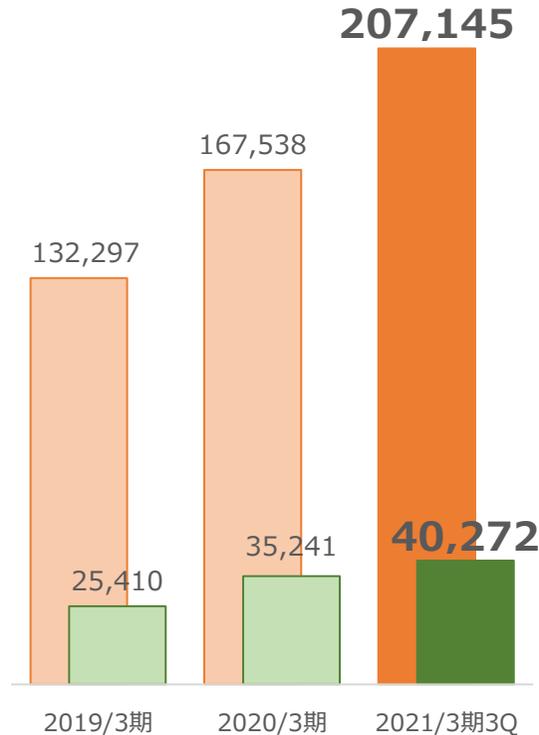
## 取扱高（百万円）

著作権管理 : 取扱高 = 徴収額  
DD/キャスティング : 取扱高 = 売上高

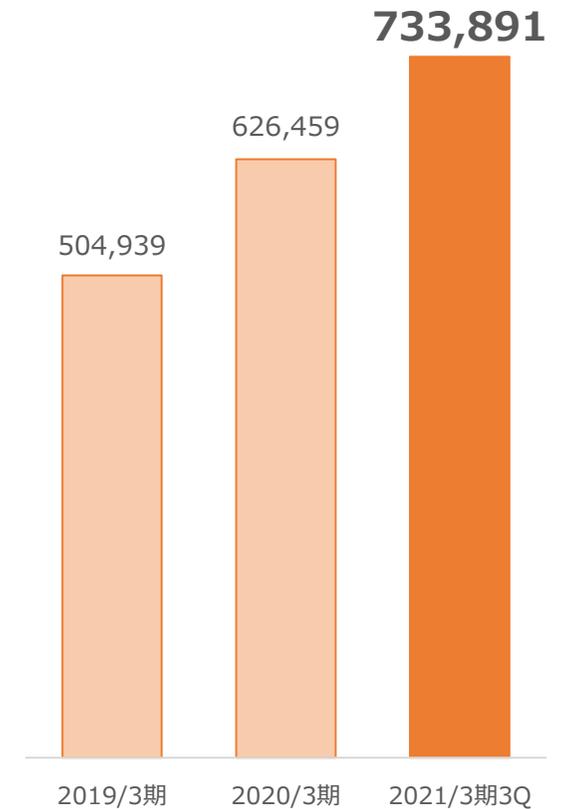


## 著作権管理楽曲数（曲）

管理楽曲数  
期中新規楽曲数

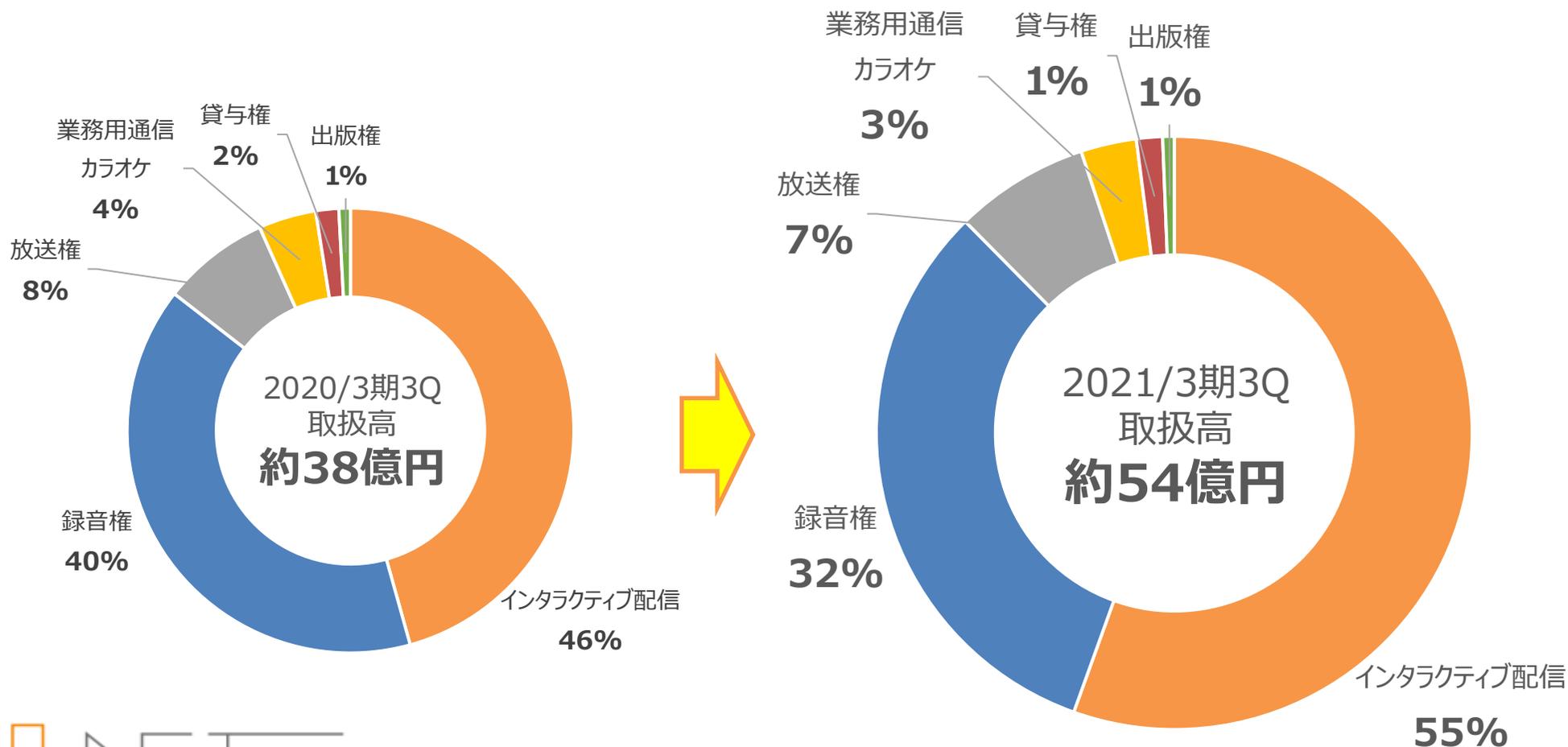


## 取扱原盤数（原盤）



# 著作権管理業務：取扱高内訳推移

- ✓ 2021/3期3Q累計の取扱高（総入金額）では、インタラクティブ配信が過半を占め、次いで、録音権、放送権となる。当社はカラオケの演奏権管理を行なっておらず、コロナ禍の影響は軽微。
- ✓ 前年同期比では、取扱高全体が約42%増の急拡大となった中、やはりインタラクティブ配信が大きく伸長。録音権は全体に占める割合は約30%に低下したものの、取扱高は増加。



# 音楽市場推移と著作権使用料徴収額の比較

- ✓ ストリーミングサービスの拡大により音楽配信は年々伸長。CD/DVD等の音楽ソフト生産は減少傾向。
- ✓ ヒットタイトルを管理することにより、録音にかかる著作権使用料徴収額は前年同期比13%増。

## 音楽配信

(当社の管理区分はインタラクティブ配信)

2018年  
**644億円**  
前年比  
**+13%**

2019年  
**706億円**  
前年比  
**+10%**

2020年  
1月～9月実績  
**575億円**  
前年同期比  
**+10%**

## 音楽ソフト生産

(当社の管理区分は録音権)

2018年  
**2,403億円**  
前年比  
**+4%**

2019年  
**2,291億円**  
前年比  
**▲5%**

2020年  
**1,944億円**  
前年比  
**▲15%**

## 【2021/3期3Q 著作権使用料徴収額（前年同期比）】

### インタラクティブ配信

当社 **30億円 (+70%)**

JASRAC 234億円 (+64%)

### 録音権

当社 **17億円 (+13%)**

JASRAC 131億円 (▲14%)

(出所) RIAJ (一般社団法人日本レコード協会) 統計情報

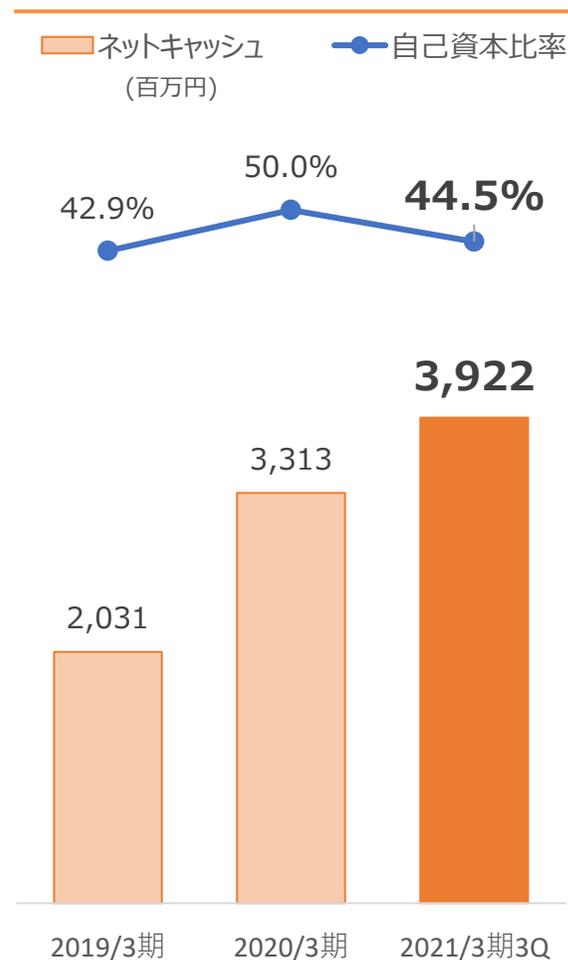
JASRAC (一般社団法人日本音楽著作権協会) 2020年度第3四半期報告書

# バランスシートの状況

- ✓ 無借金経営を継続。本業好調からキャッシュはさらに積み上がり39億円超に。総資産に占める割合は7割強。
- ✓ 負債勘定では、著作権徴収額増加により権利者への分配にかかる未払金が増加。ただし手元現金はそれ以上あり、資金繰りに不安はない。2021/3期3Q末の自己資本比率は44.5%。

(百万円)	2019/3期	2020/3期	2021/3期 3Q	前期比増減
流動資産	2,594	3,630	<b>4,694</b>	+1,064
現預金	2,031	3,313	<b>3,922</b>	+609
売掛債権	441	175	<b>608</b>	+433
前渡金	104	82	<b>35</b>	▲47
固定資産	541	615	<b>689</b>	+74
無形固定資産	432	476	<b>546</b>	+70
総資産	3,135	4,246	<b>5,384</b>	+1,138
負債	1,792	2,126	<b>2,989</b>	+863
買入債務	565	505	<b>972</b>	+467
有利子負債	0	0	<b>0</b>	±0
未払金	810	1,112	<b>1,607</b>	+495
前受金	142	99	<b>35</b>	▲64
純資産	1,343	2,120	<b>2,395</b>	+275
負債純資産合計	3,135	4,246	<b>5,384</b>	+1,138

## 財務状況の推移



## 2021/3期決算見通し

# 2021/3期決算見通し（上方修正）

- ✓ 最近の業績の動向等をふまえ、2020年5月15日に公表した通期連結業績予想を下記のとおり修正。
- ✓ 前回発表より売上高、営業利益、経常利益、当期純利益全て上方修正。
- ✓ 売上高増がコスト増を吸収し利益は拡大。
- ✓ 上方修正の主因は著作権等管理事業の大幅伸長。

## 【2021年3月期の通期連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）】

(百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主帰属 当期純利益
前回発表予想 (A)	5,592	380	380	227
<b>今回修正予想 (B)</b>	<b>6,000</b>	<b>500</b>	<b>500</b>	<b>300</b>
増減額 (B-A)	408	120	120	73
前回発表増減率	+7.3%	+31.6%	+31.6%	+32.2%

# 2021/3期決算見通し（概要）

- ✓ 巣籠り需要もあり、ストリーミング音楽配信市場の拡大と動画配信サービス市場の拡大が継続。
- ✓ 管理楽曲数・取扱原盤数は引き続き拡大する見込み。
- ✓ コロナ禍における新たなエンタテインメントサービスの展開が奏効。

(百万円)	2020/3期	2021/3期 (前回発表予想)	2021/3期 (今回修正予想)	前期比	
				増減額	増減率
売上高	4,345	5,600	<b>6,000</b>	+1,655	+38.1%
著作権等管理	3,782	4,900	<b>5,300</b>	+1,518	+40.1%
キャスティング	459	600	<b>600</b>	+141	+30.7%
その他	103	60	<b>90</b>	▲13	▲12.6%
営業利益	305	380	<b>500</b>	+195	+63.9%
著作権等管理	688	670	<b>1,000</b>	+312	+45.3%
キャスティング	36	10	<b>50</b>	+14	+38.9%
その他	17	30	<b>30</b>	+13	+76.5%
経常利益	295	380	<b>500</b>	+205	+69.5%
親会社株主帰属 当期純利益	191	220	<b>300</b>	+109	+57.1%
営業利益率	7.0%	6.8%	<b>8.3%</b>	+1.3p	—
管理楽曲数	167,538	215,000	<b>221,000</b>	+53,462	+31.9%
取扱原盤数	626,459	—	<b>—</b>	—	—

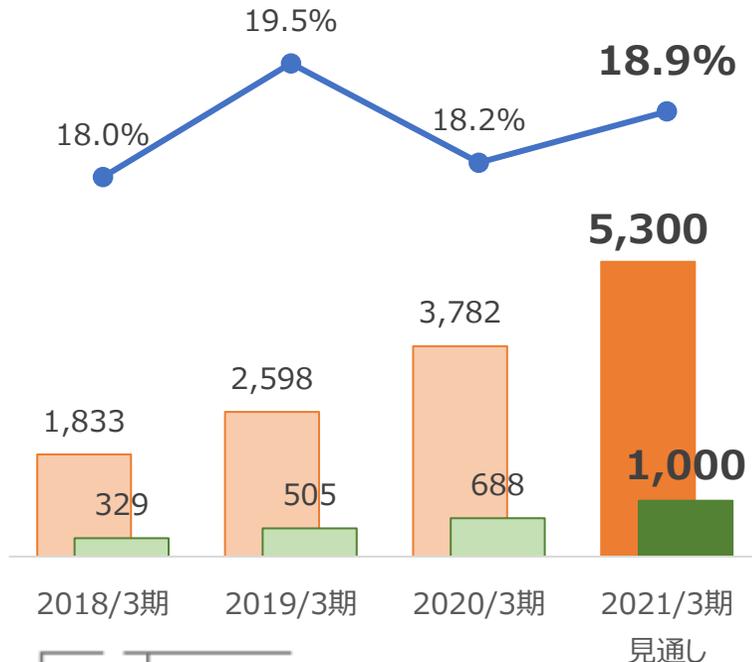
# セグメント別想定

- ✓ 著作権等管理事業では、市場伸長と管理楽曲数増加に伴い増収増益見通し。
- ✓ キャスティング事業では、イベント中止などをある程度織り込み、WEB等での代替利用を促進。WEB代替利用と人気コンテンツのライブビューイング再開で増収増益。利益率は3Q実績から1.5P改善予想。

## 著作権等管理事業

(百万円)

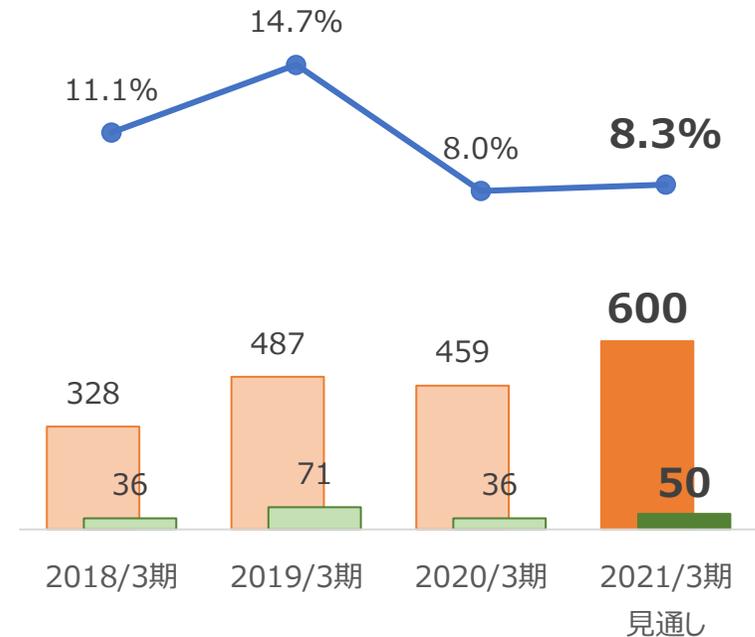
売上高 セグメント利益 セグメント利益率



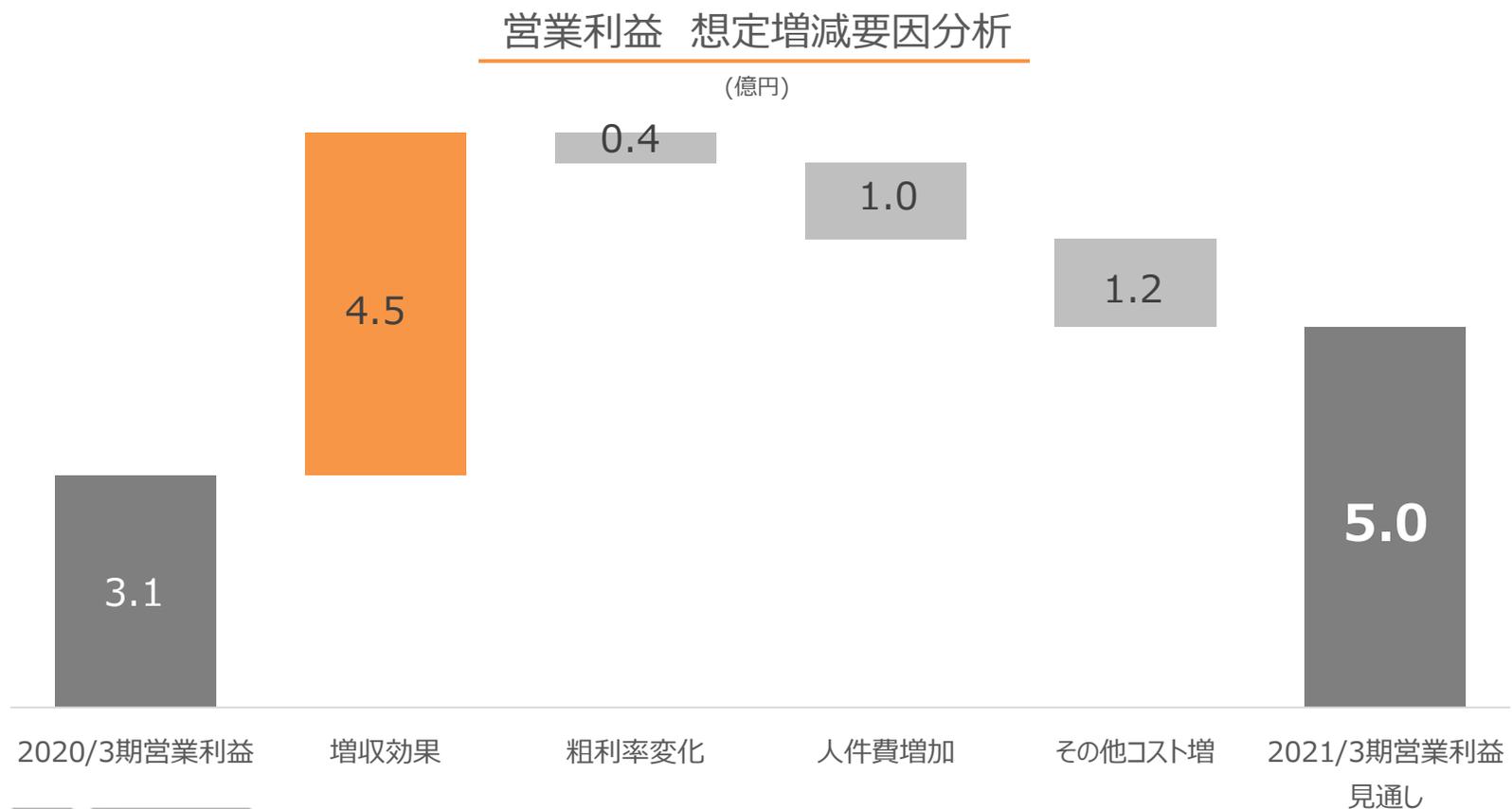
## キャスティング事業

(百万円)

売上高 セグメント利益 セグメント利益率



- ✓ 増益見通しの牽引役は引き続き著作権等管理事業の売上拡大。売上構成の変化による粗利益率の一定の低下はリスクとして織り込むが、配信市場と管理楽曲数及び取扱原盤数の拡大により、著作権使用料及び原盤使用料が伸長し、4.5億円程度の増益寄与を見込む。
- ✓ 一方、コスト面では人件費増が継続するうえ、システム関連の償却負担増、家賃負担増などが発生。しかし、売上要因による増益寄与がこれらコスト増加を吸収し、営業利益は約60%増を予想する。



# トピックス

---

## 海外徴収

- ✓ 欧州の著作権管理事業者「SACEM」「SDRM」「IMPEL」と、当社管理作品の海外利用における著作権使用料の徴収代行契約を締結。  
(当社プレスリリース) <https://bit.ly/3pMtsKt>
- ✓ 著作権協会国際連合 (CISAC) と Client RME 契約を締結。  
(当社プレスリリース) <https://bit.ly/36Fz8yA>

 **2021年4月1日より管理開始**

## 演奏権参入

- ✓ JASRACと演奏権分野における利用区分の細分化や、デジタルとネットワークを使ったカラオケ（歌唱）の徴収スキーム等に関して交渉を継続中。
- ✓ 政府提唱の既得権益打破、規制改革推進並びにデジタル化推進の方針に則り、政府機関や音楽業界団体との連携を進行中。

## ホームエンタテインメント への配信

- ✓ 家庭向けの有料ライブ配信のニーズが拡大し、著名アーティストの有観客・無観客ライブ配信をコーディネート。
- ✓ DX化が進む音楽配信市場において、マーケティングデータ機能を充実させた新たな原盤管理システム「Contents Passport」を開発中。

 **2021年春頃に  
公開予定**



## APPENDIX 会社概要

---

社名	株式会社NexTone [英語名：NexTone Inc.]			
代表者	代表取締役CEO 阿南 雅浩			
設立年月	2000年9月（2016年2月、イーライセンスとJRCが合併してNexToneに商号変更）			
本社所在地	東京都渋谷区広尾 1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー20F			
資本金	1,113,012千円（2020年12月末）			
役員構成	代表取締役CEO	阿南 雅浩		
	代表取締役COO	荒川 祐二	常勤監査役	佐藤 俊樹
	専務取締役	名越 禎二	社外監査役	小林 伸之
	社外取締役	高橋 信彦	社外監査役	大嶋 敏史
	社外取締役	升本 喜郎		
事業内容	著作権等管理事業/キャスティング事業/その他			
売上規模	4,345,481千円（2020年3月期）			
従業員数	76名（2020年12月末）			
総資産	5,384,462千円（2020年12月末）			
主な取引先	Eイベックス・グループ、(株)ドワンゴ、(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント、(株)ワーナーミュージック・ジャパン、iTunes(株)、Google(株)、(株)レーベルゲート、(株)レコチョク、他			

## 経営理念

権利者に選ばれ、  
利用者から支持される  
著作権管理事業者となる。

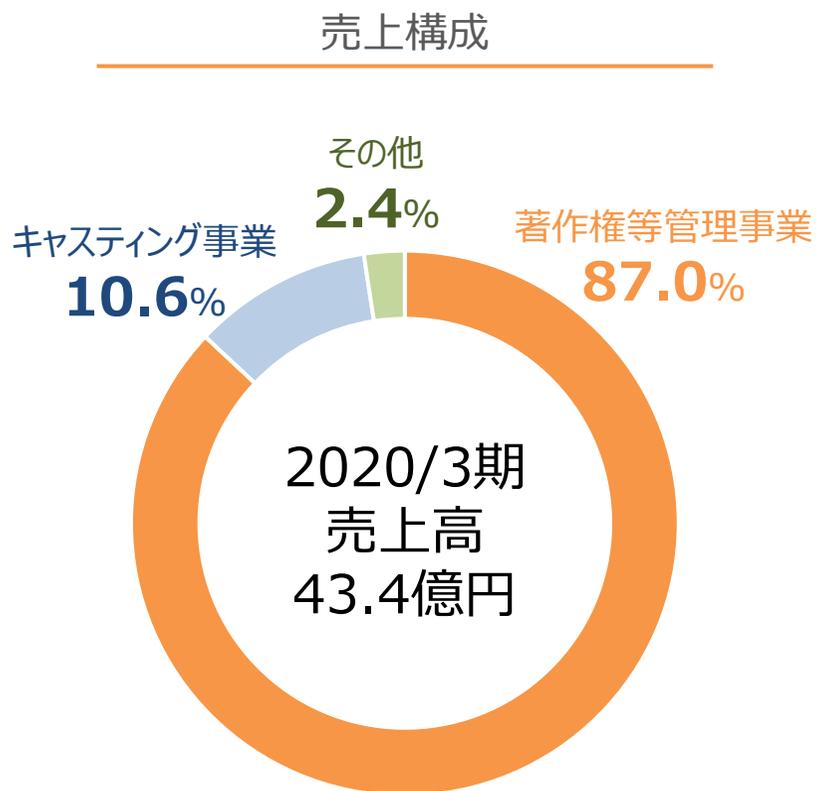


for the future of

# MUSIC

楽曲著作権者と利用者との間に立ち、  
著作権の管理と利用促進を推進する  
著作権エージェント

- ✓ 「著作権等管理事業」、「キャスティング事業」及び「その他」の事業セグメントで構成。
- ✓ 全社売上の9割弱を占める「著作権等管理事業」は管理業務と配信プラットフォーム向けコンテンツ供給が主体。
- ✓ 「キャスティング事業」「その他事業」でも音楽出版社、アーティスト等、音楽産業に携わる皆さまを幅広くサポート。



## ■ 著作権等管理事業

### ➢ 著作権管理

- ・ 著作権者から委託を受けた音楽著作物の利用許諾
- ・ 著作物使用料の徴収・分配業務など

### ➢ デジタルコンテンツディストリビューション(DD)

- ・ 国内外の音楽配信プラットフォームに向けた音楽・映像コンテンツの供給

## ■ キャスティング事業

### ➢ キャスティング・コンサルティング

- ・ アーティスト稼働やライブへのユーザー招待、楽曲タイアップに関わる音楽コンテンツの権利処理等を通じたコンテンツ利用促進コーディネート

### ➢ ODSサポート ※

- ・ ライブビューイング／映画配給・宣伝
- ・ 映画館を利用したイベントコーディネート等

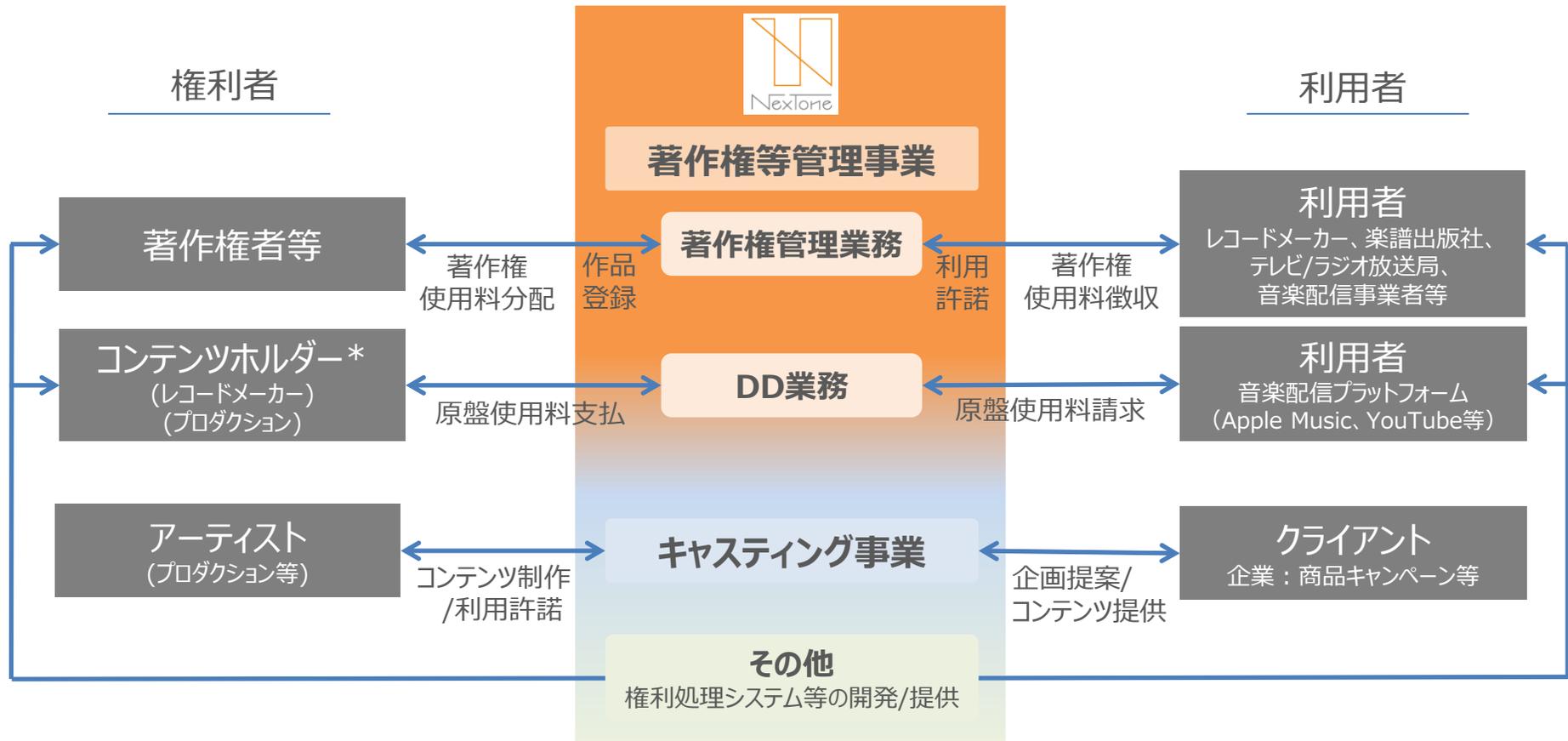
## ■ その他

- 著作権・原盤権等の権利処理システムの開発・提供、コンテンツ配信関連のシステム開発・提供、及び、各種社内システムの開発・運用など

※ ODS Other Digital Stuff (非映画デジタルコンテンツ)

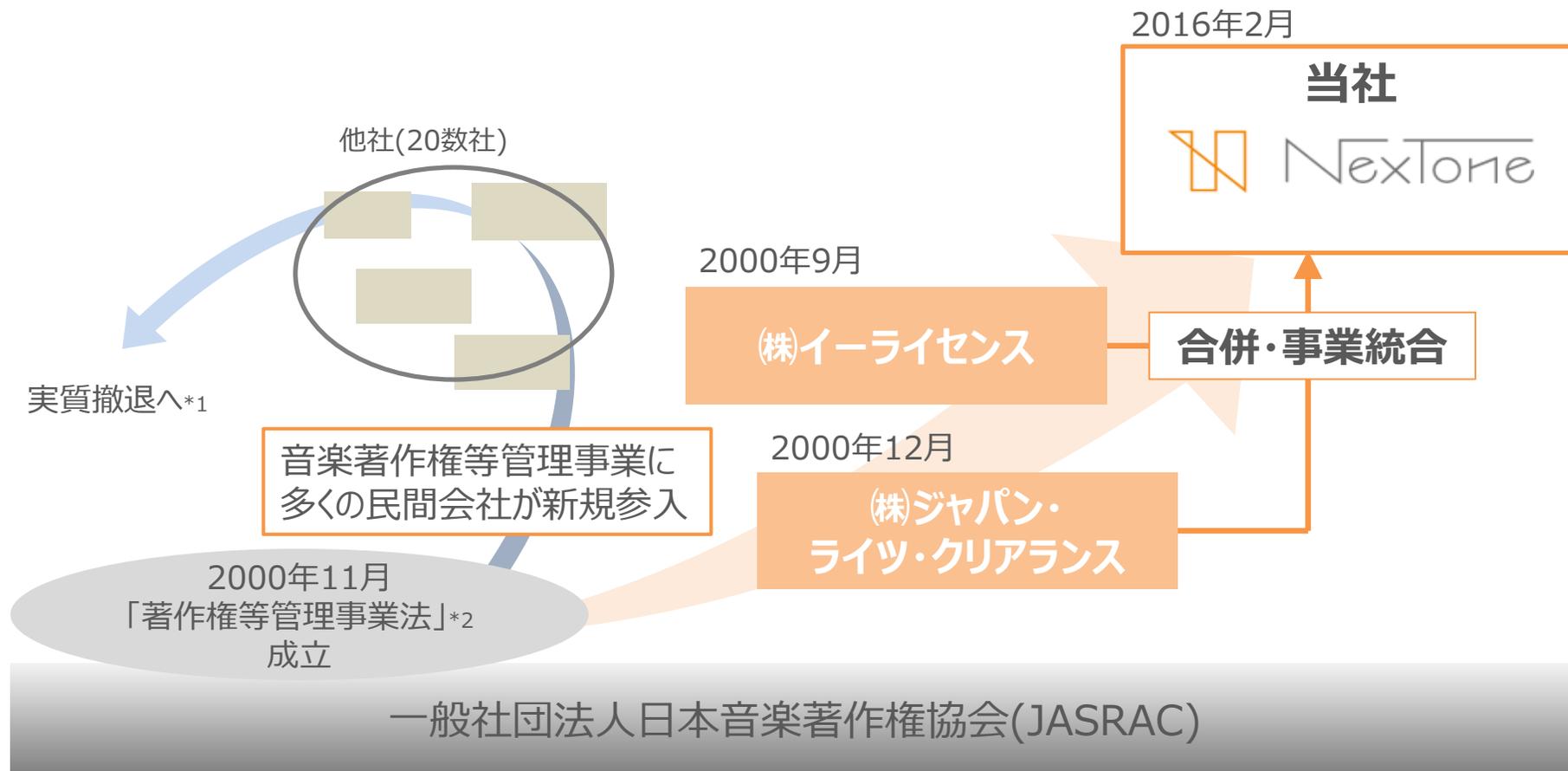
映画館で上映される映画以外(音楽コンサート、スポーツ、演劇、その他ステージイベント等)のデジタル映像作品

- ✓ 当社は著作権管理、配信音源供給、キャスティングに専念し、ユーザーと権利保有者との仲介エージェントとして機能。
- ✓ 基本的に利用者より使用料を徴収し、コンテンツホルダー他に分配。



\*2019年3月現在で600社以上

- ✓ 「著作権等管理事業法」施行により、デジタル化の進展を想定した多数の民間企業が当事業に参入。
- ✓ 当社はその中の2社「(株)イーライセンス」・「(株)ジャパン・ライツ・クリアランス」が合併統合し発足。
- ✓ しかし、デジタル化ピッチは加速せず、各社実質撤退。現在は、老舗のJASRACと当社の2社が実質活動中。



\*1：企業登録は残っているものの、楽曲管理はJASRACに既に移管している状態

\*2：「著作権等管理事業法」成立前は、一般社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)が法律「著作権二関スル仲介業務二関スル法律」で唯一認可された管理事業者

- ✓ 2000年の法改正により、30社程度が新規参入を表明。
- ✓ しかし、当社以外の新規参入社は全て実質事業を縮小。現在は、JASRACと当社の実質2社体制。
- ✓ 日々の膨大な著作権利用に係るデータや情報のシステム管理と具体的料金徴収及び分配金支払業務はかなりの負担。新規参入障壁は高い。

## 著作権管理事業への参入障壁

① 著作権管理は手数料5.0～9.8%の低収益事業

② 日々の膨大かつ複雑な著作権利用に係るデータや情報のシステム管理能力が必要

③ 手数料徴収及び権利者への分配金支払の膨大な実務能力が必要

2000年の法改正で  
28業者が登録するも、  
現在は  
実質上の撤退状態

当社は数少ない「生き残り」の民間企業  
JASRACと当社の実質2社体制へ

# 特徴と強み ②分配金管理システムの高い透明性

- ✓ 作品名、利用者、使用数等の「分配明細」を定期的に権利者に開示するデジタル管理システムを構築。
- ✓ 利用状況が明確となるため、著作権使用料の確認だけでなく、マーケティングデータとしても活用可能。

**デジタル管理**  
(「分配明細」例)

<インタラクティブ配信>

作品コード	作品名	利用者	サービス名	種別	TV	使用数	単価	使用料(税別)	消費税率	備考
作品合計 1										
			iTunes(株)	Apple Music 月額制個人向け	SS	V	48		12%	
			iTunes(株)	Apple Music 月額制家族向け	SS	V	24		3%	
			iTunes(株)	iTunes Store	DL	V	3	7.80	22%	
			iTunes(株)	iTunes Store	DL	V	2	7.95	14%	
			iTunes(株)	iTunes Store	DL	V	1		9%	
			(株)レコチヨク	dヒップ(SD)	SS	V	12		2%	
			(株)レコチヨク	dミュージック(スマホ) [DLシングル(1000円)]	DL	V	1	8.13	8%	
			(株)レーベルアード	Shoora	DL	V	1	8.00	8%	
作品合計 311										
			ANA (株)	ANA 新Freeプラン	SS	V	195		9%	
			ANA(Standard)		SS	V	818		13%	
			Utatan		ST	T	479		1%	可換
				Apple Music 月額制個人向け	SS	V	1,156		21%	

作品名、利用者、サービス名、使用数、使用料等

<YouTube配信>

NexTone作品コード	作品名	動画ID	動画タイトル	動画の期間内再生数	サービス情報	国コード
N0000****	*****	*****	*****	*****	2 YouTube Music	JP
N0000****	*****	*****	*****	*****	1 YouTube Music	JP
N0000****	*****	*****	*****	*****	500 YouTube	JP
N0000****	*****	*****	*****	*****	92 YouTube	JP
N0000****	*****	*****	*****	*****	29 YouTube Premium	JP
N0000****	*****	*****	*****	*****	4 YouTube Music	JP
N0000****	*****	*****	*****	*****	2 YouTube Music	JP
N0000****	*****	*****	*****	*****	5 YouTube Premium	JP
N0000****	*****	*****	*****	*****	1 YouTube Music	JP

作品名、動画タイトル、再生数等

<放送>

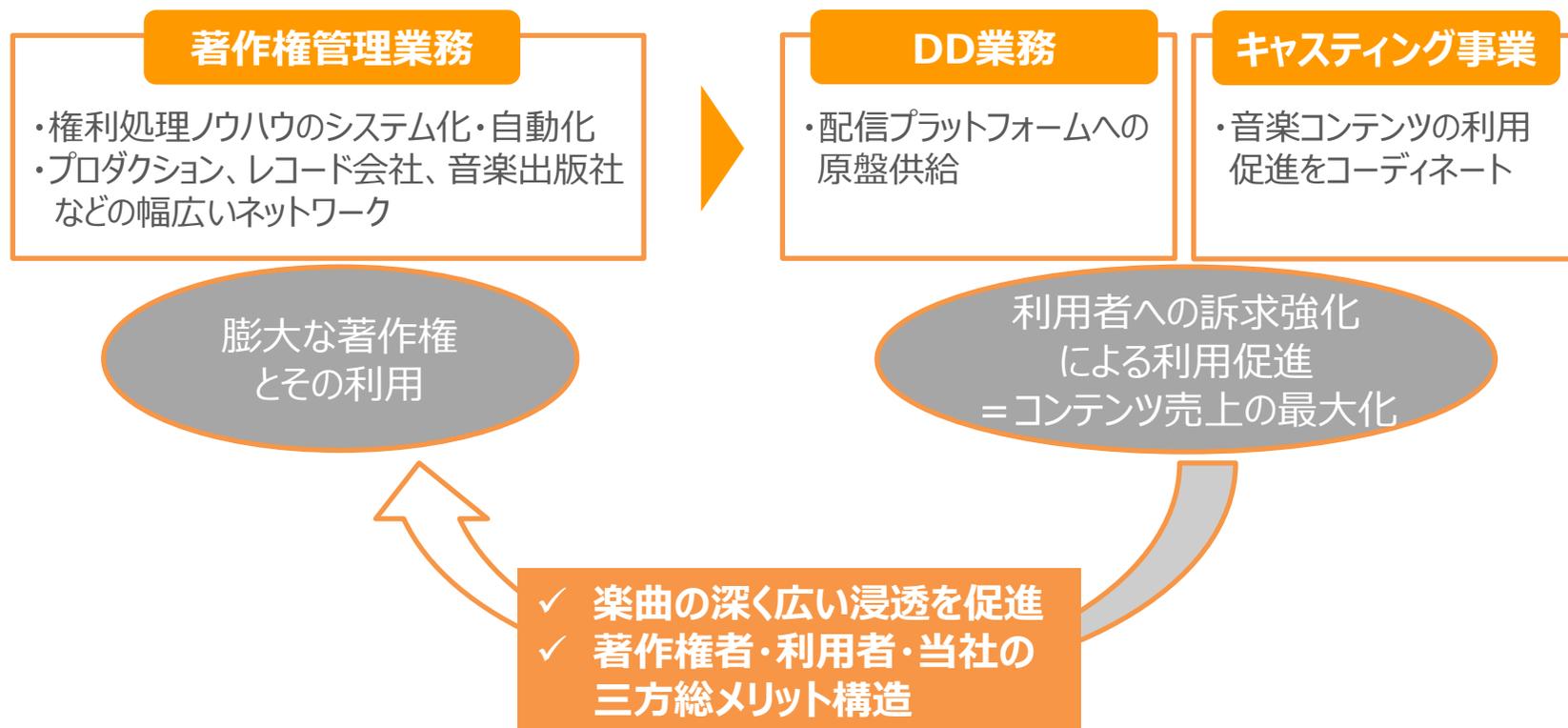
作品コード	作品名	種目	利用者	番組名	利用秒数	利用回数	放送年月日
N0000****	AAAAA	TT	長野朝日放送株式会社	*****	43	1	2019/2/20
N0000****	AAAAA	TT	株式会社静岡朝日テレビ	*****	43	1	2019/2/7
N0000****	AAAAA	TT	九州朝日放送株式会社	*****	43	1	2019/2/28
N0000****	BBBBB	TR	株式会社エフエム青森	*****	25	1	2019/3/3
N0000****	BBBBB	TR	株式会社エフエム仙台	*****	67	1	2019/3/2
N0000****	BBBBB	TR	株式会社エフエム山形	*****	131	1	2019/3/3
N0C							3/3
N0C							3/3
N0C							3/3
N0000****	CCCCC	TR	株式会社エフエム栃木	*****	15	1	2019/3/3
N0000****	CCCCC	TR	株式会社エフエムラジオ新潟	*****	30	1	2019/2/27

作品名、利用者、番組名、利用秒数、放送日等

透明な分配による権利者からの信頼獲得

さらなる作品登録の拡大を実現

- ✓ 楽曲の利用状況データは利用促進への重要なアセットとしても活用。
- ✓ データを活用した配信プラットフォームへの原盤供給（DD）やキャスティングにより、楽曲の浸透速度を加速。
- ✓ 著作権の管理のみならず、利用促進まで手がけ「権利者に選ばれ、利用者から支持される」経営理念実現へ。



# 音楽著作権について

- ✓ 音楽著作権は、4つの支分権（①～④）と7つの利用形態（⑤～⑪）により形成。
- ✓ 当社は現状、演奏権等（①）を除くすべての領域（②～⑪）を管理。

①演奏権等	②録音権等	③出版権等	④貸与権
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンサートでの演奏</li> <li>・ カラオケ</li> <li>・ 店舗内BGM</li> <li>・ 映画館での上映、等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CDの複製、等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌詞集の印刷</li> <li>・ 楽譜の印刷、等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CDレンタル</li> </ul>
	⑤映画への録音		
	⑥ビデオグラム等への録音		
	⑦ゲームへの録音		
	<b>⑧広告目的で行う複製</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレビ/ラジオCMへの複製</li> <li>・ インターネットCMへの複製</li> <li>・ 広告印刷物への歌詞の複製、等</li> </ul>		
	⑨放送・有線放送 テレビ/ラジオでの放送、等		
	⑩インタラクティブ配信 スマートフォン/パソコンへの配信、等		
	⑪業務用通信カラオケ カラオケ施設での歌唱のための複製、公衆送信、等		

	当社	JASRAC
著作権使用料徴収額 (2019年度実績)	55億円	1,177億円
管理手法	主にデジタル管理	アナログ/デジタル管理の混在
徴収形態	使用実績に応じて徴収	一定基準での みなし徴収システムを併用
著作権等の管理範囲	「演奏権」以外	全領域
委託者（著作権者） との契約形態	委託契約 (委任/取次)	信託契約 ＜著作権はJASRACに移転＞
権利者の意思反映	 権利者裁量により 柔軟に料率変更が可能	 権利者の意思が 反映し難い

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】  
株式会社NexTone 経営企画部  
ir@nex-tone.co.jp